

電子化に向けての準備

- 電子パス委員の立ち上げ
- ベンダーと以下の内容について検討
システムのカスタム化 アウトカム設定
運用方法(アウトカム評価/ステップ適応の仕方)
作製方法 その他...
- パス作製マニュアルを作製

2017 済生会西条 クリニカルパス委員会

しかし、移行作業は難航を極めた...

問題その壱

フォーマットが大きく異なる

問題その弐

アウトカムの設定が難しい

2017 済生会西条 クリニカルパス委員会

フォーマットの違いについて

現行パス

アウトカム

食事

安静度

排泄

清潔

検査(検体)

検温

治療・検査(画像)

説明

備考

電子パス

アウトカム

指示簿

イベント

オーダー

手術 処方 注射 汎用 検査

画像 リハビリ 文書

食事

看護 看護計画 看護介入

タスク

コメント

共通するのは
数項目のみ...

2017 済生会西条 クリニカルパス委員会

アウトカム設定について

たくさんアウトカムを設定すると

判定が大変に...

判定基準を高く設定すると

バリエーションが発生しやすくなる

抽象的な内容だと、看護師それぞれの

価値観/看護観で判定にバラつきが生じる

2017 済生会西条 クリニカルパス委員会

例:アウトカム「呼吸状態が安定している」

曖昧なアウトカム設定は
混乱を招く
(バリエーション発生を増加を招く)

無自覚でも
不安定な値だから
「有り」でしょ!

酸素飽和度91%でも
自覚症状なければ
バリエーション「無し」でしょ。



バリエーションが増えると
医師・看護師とも負担増!

2017 済生会西条 クリニカルパス委員会

また、「ステップ適応」の合否確認が
夕方までずれ込むと
時間外に検査・処方・リハビリ・食事他の
オーダーが登録されるため
ミスが起こりやすくなる

電子化に移行するためには
詳細な運用方法も検討しなければならない

2017 済生会西条 クリニカルパス委員会

電子化を阻む問題点について
詳細に議論を行った。

現行の紙パスのアウトカム設定見直しを
最優先とした。
また、アウトカムを判定する
基準が設定されている
BOMを導入することにした。

2017 済生会西条 クリニカルパス委員会

結語 電子化移行を阻んだもの

- ①大きく異なるフォーマット
- ②アウトカム設定の難しさ
- ③運用の難しさ

紙パス: 電子カルテと連動していない
電子パス: カルテ(オーダーリングシステム)と
直結している

アウトカム設定の見直し
から着手した次第です。

2017 済生会西条 クリニカルパス委員会



しかも、現行パスの記述内容は
診療科ごとに個別性があり、
マニュアルに準じて
作成しようとしても
行き詰まってしまう……

2017 済生会西条 クリニカルパス委員会